

放課後子供教室推進事業実践事例

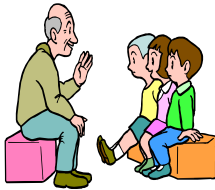
放課後子供教室推進事業

(H19～生涯学習課)

多くの地域住民の方々の参画を得て、子供たちの安心・安全な居場所づくりとともに社会教育の場としての活動が、平成27年度は、県内14市町村89教室で実施されました。(宮崎市を含む)



【いもちづくりの様子】
(都城市：岳ん子クラブ)



このような声が聞かれます・・・



子供達から

参加して楽しいし、みんなと仲良くできて嬉しい。
指導者の先生や友達と遊ぶのが楽しい。
知らないことをたくさん教えてほしい。

ボランティアから



子供達と一緒に活動することが非常に楽しかった。
もっとこの活動を多くの人に知ってほしい。



保護者から

学年に関係なく友人が増えた。
生活が規則正しくなった。
いろいろな方に様々なことを教えていただき、本当に子供のためになると思う。

地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得て、放課後等に全ての子供を対象とした学習支援や多様なプログラムを実施

放課後子供教室 (文部科学省)

全ての子供たちに対して、学校の余裕教室、体育館、公民館等を活用して様々な取組を実施

<1教室あたり平均参加人数:約30人/日>



コーディネーター

(取組の企画、担い手確保、全体調整)



連携・協力

多様なプログラムの提供

教育活動推進員
教育活動サポーター

(学習支援や多様なプログラムの実施、安全管理)

「放課後子ども総合プラン」 として、連携して実施

学校



- ・余裕教室等を提供
- ・子供の放課後や学校での様子などについて、日常的、定期的に情報共有

放課後児童クラブ (厚生労働省)

放課後児童クラブに参加している子供が放課後子供教室の取組に参加



【取組の例】

- 学習支援 (約6割の教室が実施)
 - ・宿題の指導
 - ・読み聞かせ
- 体験活動
 - ・工作・実験教室
 - ・料理教室
 - ・スポーツ
 - ・文化活動
- 交流活動
 - ・自由遊び、昔遊び
 - ・地域の行事への参加など



参画

*経費は運営費(コーディネーター等への謝金)

地域住民や大学生、企業OB、民間教育事業者、文化・芸術団体等の様々な人材